

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	一般小売店〔衣 料品・雑貨〕 （経営者）	販売量の動き	・観光客の増加に伴い、3か月前と比較して売上が上 昇している。
	やや良く なっている	その他専門店 〔楽器〕（経営 者）	販売量の動き	・昨年の郊外型ショッピングセンターの影響が依然 としてあり、既存部門において不調な部門もあるが、 沖縄音楽関連の新部門で好調となっており、全体的な 売上も微増だが好調となっている。
		その他飲食〔居 酒屋〕（経営 者）	来客数の動き	・各店舗とも、前年同月比121%で順調に集客してい るが、客は価格に対して非常に敏感であり、雰囲気 が良く、おいしく、早い、その上安くないと集客が難 しいというのが現状である。実際、平均単価が2,300円 を超えてしまうと、おいしくて良い店という評判はと れても、集客に苦労する。
		観光型ホテル （商品企画担 当）	販売量の動き	・夏場の稼働率は例年同様90%前後であるが、客室単 価は昨年を5～7%上回る値で推移している。
		観光型ホテル （営業担当）	単価の動き	・営業施策もあるが客単価が良くなっている。
	変わらない	百貨店（担当 者）	単価の動き	・前月は台風の影響を強く受けたが、当月は月初から 夏物衣料処分セールが好調で、対前年同月比で2、 3%改善している。一部食品については中元期間のず れにより対前年同月比としては苦戦しているものの、 今後は需要の増加が見込めることから7、8月累計値 での判断が必要となっている。ただ好調の衣料も売上 こそ順調だが、来店客数は前年同月比でマイナス5、 6%となっており、客単価の改善が売上全体を押し上 げている。
		コンビニ（経営 者）	単価の動き	・来客数は、対前年同月比で5ポイント上昇してい るが、客単価は、ほとんど横ばいの状態となっている。
		コンビニ（エリ ア担当）	販売量の動き	・客1人当たりの買上数は前年と同数なのだが、商品 1品の単価は前年同月比で5%上昇している。ただ し、それも商品施策上で、アップを図った結果であ り、結局は必要な物しか購入しない等、目的買いが強 いという傾向がある。
		衣料品専門店 （経営者）	単価の動き	・先月に引き続き、客単価が少しずつだが上昇してい る。
		家電量販店（副 店長）	単価の動き	・来客数は前年同月値を維持しているが、客単価が大 幅に下落しており、今後予定されている競合店の出店 により、厳しい状況が続く。
		旅行代理店（経 営者）	販売量の動き	・販売額は前年同月比で約105%である。
		観光名所（職 員）	来客数の動き	・当施設来客者数は前年同月比で6.7%増加してい る。前年の7月は4月から6月の落ち込みの反動で 14%程増加した月であり、その事を考慮すると今月の 沖縄観光は好調である。
		住宅販売会社 （従業員）	お客様の様子	・貸付金利の上昇気運もあつたか、展示場の来客数が 例年に比べて減少している。また、住宅建築面積も縮 小傾向が鮮明になっており、全体の建築面積の平均が ここ数年小さくなっており、1棟当たりの販売金額も 減少している。
やや悪く なっている	スーパー（企画 担当）	競争相手の様子	・競合店の新規出店の影響が予想以上に始まってお り、客の販売動向に影響が出ている。	
	コンビニ（エリ ア担当）	来客数の動き	・昨年と比較して、気温が多少低いことと、観光客が この夏は離島にやや傾斜しているため、客数の伸び率 が若干低下している。	
	ゴルフ場（経営 者）	単価の動き	・来客数は予測どおりとなっているが、低い単価の客 が主であることから、売上は減少傾向にある。	
悪く なっている	商店街（代表 者）	お客様の様子	・街中の客の様子は、観光客は来客しているものの、 最近では観光客もリピーターが多くなっており、販売 力には結び付かず、地元の客は郊外に流れている。	
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	建設業（経営 者）	競争相手の様子	・ライバルの受注件数が増加している。

		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・大型店舗のオープン、猛暑による量販店の売上増に伴い物量が増加している。
	変わらない	不動産業（支店長）	受注量や販売量の動き	・問い合わせ客や相談客、来客数が引き続き減少している。
	やや悪くなっている	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注確定の大型案件がサービス開始延期となり、予定の売上が達成できていない。
	悪くなっている	-	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	周辺企業の様子	・沖縄観光が好調で、また、各分野、各業種でそれぞれ新たな展開や試みが見受けられる。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	周辺企業の様子	・正社員応募の急激な増加はなかったが、観光客の増加に伴って、土産・衣料品・その他飲食店などの求人依頼広告が増えており、また、郊外型大型店のオープンなどにより契約社員やアルバイト・パートなどの募集も増加している。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・定期採用求人に増加は見られないが、求人数は増加しており、企業側の採用動向に関しては従来よりも増加傾向にある。
		学校〔大学〕（就職担当）	周辺企業の様子	・求人数は微増しており、観光関連企業の業績が好転していることから、建設業以外の県内景気が全般的に好転している。
	変わらない	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は3か月前比で10.3%減少している。雇用形態等でみると、一般求人は構成比80.4%で、3か月前比で2.9%の増加、パート求人は19.6%で3か月前比で41.2%の減少となっている。産業別に3か月前比でみると、運輸業、製造業、教育、学習支援業及び複合サービス業を除く、各産業全般で減少となっている。有効求人倍率は、0.42倍で3か月前比よりも0.02ポイント減少している。
	やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-	